

平成 27 年度
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会
第 6 回理事会

日時 平成 27 年 10 月 30 日(金)
午後 3 時 00 分～午後 6 時 00 分
場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所

平成 27 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 5 回理事会

日 時 : 平成 27 年 10 月 30 日(金) 午後 3 時 00 分～午後 6 時 00 分

場 所 : (一社)静岡県臨床衛生検査技師会事務所

出席者 : 現在役員数 20 名 (理事 18 名・監事 2 名)
三宅和秀 鈴木雅人 藺田明広 山口浩司 稲村義男 山田哲司
井川千春 都築農夫志 市川千津子 新村喜明 川口貴子
伊藤喜章 豊田次郎 杉澤きよ美 (書記)
渡辺時治 (監事)
(15 名/全 20 名中 うち理事 14 名/全 18 名中)

欠席者 : 三原利仁 清水憲雄 梶間弘美 加藤智行 榛葉智之 (監事)

議長及び議事録署名人選出

議 長 三宅和秀
議事録記名人 鈴木雅人 藺田明広 山口浩司
渡辺時治 (監事)

議題

1. 前回議事録確認
2. 常務理事会報告
3. 中部圏医学検査学会 別紙
4. 選挙関連 別紙
5. 各部報告・審議事項
 - ・ 渉外広報部 (P6～)
 - ・ 組織部 (P7～)
 - ・ 学術部 (P8～)
 - ・ 会計部 (P9～)
 - ・ 事務局 (P9～)
6. その他
 - ・ 会員の異動
 - ・ 予定
 - ・ その他

次回理事会 (平成 27 年 12 月 14 日 (月) 書記: 川口理事)

議事に先立ち、三宅会長より第 54 回中部圏支部医学検査学会について理事へのお礼と、ディスタンスさんより挨拶があった。

議題

1. 前回、前々回議事録確認（伊藤事務局長）

- ・本日榛葉監事が欠席のため前回の議事録の一部が未完成であるが、それ以外の理事・監事は本日署名、捺印した。
- ・前々回議事録は本日渡辺監事が署名、捺印し完成した。

2. 常務理事会報告

1) 日臨技支部会報告〔三宅会長〕

支部長会議に中部圏支部長三重県山本氏が出席、各支部へ報告がされた。

① 中部圏支部から日臨技へ以下について要望し、回答があった。

- ・会員のパスワード入手の迅速化について

日臨技の臨時総会が来年 1 月 23 日に行われ、前回総会が成立せず流れてしまった日臨技副会長定数承認に関する議案が出される予定。

会員には、個人宛郵送されるハガキにパスワードの記載があるので、パスワードを把握しておくようその旨広報し認知度を上げる。

合わせて臨時総会での電磁評決参加も促す。

- ・精度保証施設認定の更新料について

基幹施設への資料作成や配布、検体管理加算、病院機能評価、診療報酬獲得に向けた事業費が必要で、今後も値下げはしない方針との回答。

- ・検査と健康展への補助金について

現在、技師会単独開催に限った補助となっており、今年度のメディメッセージでの共催では助成されない。今後検討していきたいとの回答。

静臨技としては共催でのメリットを上奏し、減額はされるかもしれないが共催でも補助金を得られるよう獲得への働きかけをしていく。

② 支部マニュアルの改訂

- ・支部学会の抄録

平成 27 年度九州支部学会から Web 抄録を導入（会報 JAMT10 月 1 日号参照）。

中部圏支部でも来年度（石川県）から導入予定。

- ・支部研修会出納帳

源泉税・余剰金の振り込み方法が変更されるので、確認をお願いしたい。

③ 検査と健康展について

検査と健康展は 11 月が開催月間。

今年は 41 都道府県が開催予定（開催月は前後 1 ヶ月程度考慮あり）。

中部圏支部は、静岡県と石川県が共催事業で開催（補助金なし）する。

④ 認知症疾患医療センターにおける検査部門のあり方に関する現状調査について

全国に 300 施設（うち検査技師勤務施設 200 施設程度）で、認定技師は 14 名（中部圏

は愛知県と三重県で各1名)。

今回、認知症に関する研修会があるので聖隷三方原病院から参加していただく。

⑤ 臨床検査技師による病棟業務推進施設情報連絡会設置について

設置のお知らせと、加入へのお願いがあった。(すでに各施設へ送付済み)

静岡県では40施設近い登録があるが、登録締切11月1日後も随時受け付ける。

来年度の中部圏支部学会で病棟業務推進についてのシンポジストを聖隷浜松病院にお願いした。

⑥ 中部圏支部学会開催報告

山本中部圏支部長より日臨技へ終了報告記事が提出され、会報 JAMT (Vol. 21 No. 20) に掲載された。

2) イベント関係

① 平成27年度伊豆市社会福祉大会報告〔稲村常務理事〕

10月24日(土)修善寺生きいきプラザにて開催された。

地域福祉を推進する団体として、地域福祉と地域住民に福祉に対する意識を深めてもらう場として、また、誰もが健康で明るく安心した暮らしが送られる地域づくりを目的として各種団体が参加して開催。

静臨技ブースでは、血液像、心エコー動画を始め、血液、脳波、心電図、細菌、尿、生化学、超音波、病理の各検査をボード掲示した。

鈴木副会長、稲村東部支部長の他、順天堂静岡病院山田貴志子氏、伊豆赤十字病院藤原誠氏、東部メディカルセンター松川昭宏氏が参加した。

② 平成27年度メディメッセンジャー〔伊藤事務局長、山田常務理事〕

理事17名分の宿泊は確保済み。会期中、会長、副会長、事務局長は全国学会下準備に協力いただいている関係各所への挨拶回りも予定しているので、役割分担への協力をお願いしたい。

若干修正をするが、役割分担(臨床生理部門、臨床血液部門、病理細胞部門)も決まり、動員者も確定した。他に静岡医専の学生25名も参加する。企画も昨年通りで概ね決定した。

集合時間は前回実績では8時半頃となると思うが、正式な集合時間、控室、駐車場等について、協和医科から連絡があり次第報告する。

③ 減塩・低カロリープロジェクト〔伊藤事務局長〕

浜松市医師会長より正式に共催依頼があり、山口副会長、山田西部支部長、伊藤事務局長が打ち合わせに参加した。

今年度も11月29日に例年同様の内容で開催される。事前予約制だが、技師会担当の定員80名のところに既に100名以上の申し込みがされているとのこと。

メディメッセンジャーの翌週開催となるため、理事の他はメディメッセンジャーに多数参加協力くださる聖隷病院以外で、磐田市立、遠州病院から会員の動員をお願いし、学生を含めた総勢25名が参加予定。SMBG、尿検査、誘導等、学生の分担も考えながら、担当する。

集合は9時、浜松市医師会館。白衣を持参のこと。

3) 派遣法について〔伊藤事務局長〕

「労働者派遣法」が平成27年9月30日に改正、施行されたため、事務員の派遣契約を10月1日付で再締結した。

同一派遣先の事業所において、同一人物を派遣受入れできる期間が、原則3年が限度となるため、今後の契約形態を考慮する。

3. 中部圏医学検査学会報告〔山口副会長、豊田会計部長〕

1) 学会事後処理について

お礼状の発送、もしくはメールでのお礼連絡が完了した。

収支報告は、計算できていないところがあり未実施。支払完了後に書類作成する。

2) 支部学会終了報告書提出について

提出要請のある『静岡県』、『静岡市』、『静岡県教育委員会』、『静岡市教育委員会』、『静岡県医師会』の後援団体、および『日臨技』に学会終了報告書を提出する。

収支報告書の完成を待ち発送する。

3) 学会運営に関する振返り

部会毎の学会役員の振返り、および参加者による評価や感想をあげてもらった。

(別添報告)

- ・九州支部圏から始まるクラウドによる抄録登録が進めば対応もできるが、当日の修正等に追われてしまった。
- ・ランチョン、高校生ガイダンスなど、もう少し早くから企画広報すべきだった。
- ・静臨技企画として、時代のニーズに合った企画があってもよかった。
- ・メーカーのブース代を高くしても企画権利を与えて、カフェスイーツセミナー等、複数メーカーに担当してもらってもよかった。等

参加者目線の振返りも含め、反省点を6年後の開催時に振り返られるよう残す。

4) 支部学会学術奨励賞

26 演題に推薦をいただいている。

会長、支部長からも意見を聞き決定し、中部圏支部にあげる。後日結果報告をする。

5) その他

- ・学会時に撮影された写真が3冊のファイルにまとめられて、事務所に保管するので、必要時にはそこから利用する。
- ・まだ、確定ではないが収支全て計算した段階で、会計はプラス281円となっている。

4. 選挙関連〔山口副会長〕

資料により説明

1) 日本臨床検査技師連盟活動協力について

次期参院選(2016年7月18日)への宮島会長出馬に関しての協力依頼があった。

①『推薦状』の提出

技師会の代表が国政選挙に臨むということで、静臨技としても応援の意思表示は自民党公認を得る際、すでに推薦状を提出済みだが、再度、理事会承認を得た上での推薦状提出の依頼があった。期日 10 月末日まで。

→ 承認。

②日本臨床検査技師連盟静岡県支部設置

別紙案に基づき、支部を設立する。

支部長に山口副会長、副支部長に稲村常務理事、執行委員には三宅会長、藺田副会長、三原常務理事、山田常務理事、会計責任者に豊田会計部長、会計責任者の職務代行者に市川理事、監事に榛葉監事をお願いする。公務員は勤務中の選挙活動を禁じられているので、時間外での協力となるが、連盟等の活動に加わることに問題はない。

欠席の三原常務理事の意向を確認後、稲村常務理事が書類作成。静岡県選挙管理委員会に政治団体設立届けを提出する。

→ 承認。

③『宮島よしふみ後援会入会』の推進

目標は全国で 50 万人。一口 1 万円。

④『自由民主党黨員入会』の推進

目標は今年中に全国で 1 万人。一口 4 千円、家族は 2 千円。

- ・理事が中心となり、各職場に理解と協力を求める。入会、入党いただける会員があれば取りまとめて会計責任者に入金依頼する。
- ・かなりの入会者が必要となるため会員全員の協力が不可欠だが、金銭の支出があることや各人の信条もあり強制はできない。看護協会、薬剤師会、理学療法士会の候補者はほぼ当選確実との情報もあり、臨床検査技師の地位向上や未来に向け、危機的立場に置かれている臨床検査技師の身分を守るためにも、臨床検査技師の代表が政界に進出することがどれだけ重要で必要なことか、また、宮島会長の公約や、今回、会長が出馬することの意味と結果がもたらす可能性についても会員に向けて説き、理解と得票に向けた協力を求めている。
- ・理解を得るためにも支部会などで技師長や支部役員にも重点的に説明していく。
- ・今後も連盟からの進捗を随時報告する。

5. 各部報告・審議事項（常務理事会分を含む）

1) 渉外広報部〔鈴木副会長〕

資料により説明

- ・会報 10 月号に中部圏支部医学検査学会を速報として掲載した。会報 11 月号に参加者数の訂正を含め、続報を掲載する予定。
- ・11 月号は 10/27 に印刷に入るため実務委員等に依頼した原稿提出をお願いしたい。
- ・12 月号にはスタートアップ研修会案内を掲載予定。
- ・会員投稿が少ないので、理事施設を中心に引き続き会員投稿をお願いする。

2) 組織部〔山口副会長、稲村常務理事、杉澤〕

資料により説明

- ・「平成 27 年度公衆衛生事業功労者」への推薦なし。9/30 対象者なしで報告済み。
 - ・「結核研究奨励賞」は引き続き対象者を調査中。提出期限は 12 月 25 日なので各支部は 11 月末までに調査結果を報告されたい。
 - ・会員名簿について
 - ① 前年度名簿は 10/28 現在で全体の 34%が回収された。施設で処分したところもあり 100%回収は難しいが継続する。
 - ② 掲載内容に変更・訂正があり、会報 11 月号に訂正記事を掲載する。
 - ・名簿配布時に前年度名簿回収の依頼文と来年度名簿配布希望の確認文書(個人会員のみ)を同封する。
 - ・JAMTIS 新会員管理システムへの対応について
会員名簿発行後、本年より変更された新システムの運用不備があったことが判明。
 - ① 新会員管理システムより、新規入会や転入者における静臨技での承認作業が必要となったが、本作業を認識していなかったため、会員登録の反映が遅れ、会報の配布数の不足や、連絡責任者の確認の際に不在との誤認識に繋がった。
⇒日臨技より毎月、静臨技(会計部長)宛に会費入金連絡がある。転入についてはその段階での入金がないので漏れていた。確認に併せて承認するという一連の流れを鑑み、以降は、会計部長に「入会・転入確認」の承認作業をお願いしたい。
 - ② 昨年度までは JAMTIS 会員管理システム内の連絡責任者欄は、日臨技で登録や修正が行われていた。新会員管理システムは、登録情報として連絡責任者は継続して掲載されているが、変更手続きは各地臨技で行うこととされた。また、それに伴い現状の日臨技の施設申請用紙に連絡責任者を記載する欄はない。
⇒静臨技名簿作成や配布物送付時の宛先ラベルを印刷にするにあたり、現状の連絡責任者を継承して掲載する場合は、JAMTIS 抽出データやシステムを利用することで作業が簡便に行なえる。静臨技(組織部)にて連絡責任者連絡用紙を新たに作成し、連絡責任者に変更があった場合はそれを利用する。併せて入力作業を静岡県技師会(事務員)が担うことで対応する。
 - ③ 会員が個別に JAMTIS 会員情報を修正や訂正した場合は、「会員の異動」データ(会報原稿用に事務員が抽出する)で把握するが、修正手続きが、抽出データに反映されない場合(例:送付物郵送先住所のみの修正や、静臨技の入会・転入確認の承認漏れ等)は、会員名簿発行後などに会員から指摘を受ける場合がある。
⇒会員の修正手続きがデータに反映されない場合は、静岡県技師会(組織部や事務員)が指摘内容を確認のうえ、適宜、本人や日臨技に問い合わせ、JAMTIS データを修正するなどして対応する。その後、理事会での報告、および会報に情報掲載する。
- 理事は事務権限を持つので、各自画面を確認しておく。
- 以上①～③について → 承認。
- ・求人情報掲載依頼が 2 件、削除依頼が 1 件あり、ホームページへの対応をした。
 - ・2015 年度スタートアップ研修実施について

スタートアップ研修の開催、および組織強化セミナーを併せて行なう
2016年1月17日(日)グランシップを仮予約済。昨年同様の内容で実施予定。
講師は理事以外にはアボット社に依頼済み)

日程および内容について → 承認。

- ・60年史資料収集について
報告事項なし

3) 学術部〔藺田副会長、清水理事〕

資料により説明

- ・日臨技より、今年度も地域ニューリーダー育成講習会について各都道府県1名の推薦依頼があり、静岡県立総合病院の平松直樹氏を会長推薦し、参加いただいた。
- ・平成27年度浜松市衛生検査所精度管理管理責任者等研修会が開催される。
- ・静岡県衛生検査所経度管理専門委員会が開催されるため、当会所属の委員5名(松本直樹氏、清水憲雄理事、鈴木英昭氏、佐野克典氏、栗田泉氏)への出席依頼があった。
- ・平成27年度静岡市衛生検査所立入検査が実施されるため、当会所属の衛生検査所精度管理専門委員、大石和伸氏の派遣依頼があり、実施された。
- ・日臨技より、今年度、精度保証施設認証への申請が可能な施設についての報告があり、認証登録への周知依頼があった。
- ・日臨技へ日本臨床検査標準協議会(JCCLS)より「JCCLS 共用基準範囲普及についての依頼」があり、日臨技より会員ならびに会員施設への周知とJCCLS 共用基準範囲の普及・啓発への協力要請があった。JCCLS 共用基準範囲は日臨技でも推奨するものであり、国立病院機構は採用した。臨床化学会の統計専門委員からも承認されており、精度管理調査報告会でも報告される予定。
- ・静岡県中部糖尿病療法指導士(CDEL)資格運営委員会発足についての協力要請や、製薬メーカーから共催研修会の打診があったことを受け、静臨技の後援等に関する内規の改定を検討。現在、日臨技でも検体持ち出し等に関するガイドラインを作成中であるため、その結果を含め、平成18年に制定された静臨技の後援、個人情報取り扱いについて等の内規を改定したい。ホームページ内の資料も更新したい。日臨技のガイドライン作成を待って、静臨技内規試案を作成。中部CDEL 資格運営委員会への協力方法を含め、今後継続協議していく。
- ・日本光電から「臨床心電図セミナー 静岡」への後援要請があった。
日本不整脈心電学会との共催事業だが、企業は一社のみで日臨技との関係性が不明。公益性は高いと考えられるため、後援が可能か日臨技に確認する。
- ・日臨技より、平成28年度都道府県精度管理調査における日臨技精度管理調査試料(臨床化学)の使用希望について確認があった。静臨技では使用しない。
- ・JAMTOQC システムを利用した精度管理調査設定費用に関する今年度の請求関連資料が送付された。来年度予算の設定の参考にする。
- ・12/13(日)に開催する精度管理検討会の役割分担について、別紙にて報告。
また、賛助会員の解釈で受付時にトラブルとなった過去があるが、賛助会員施設の技

師であっても個人会員としての技師会登録がなければ非会員扱いとなる。賛助会員は例年会費納入をもって確認されている。個人会員の解釈について賛助会員(施設)宛てに文書を送り誤解の無いように広報する。

- ・ 栗田病理部門長より、製薬メーカー主催研修会への共催についての問い合わせがあった。一社のみで開催なので共催は不可。病理部門として協力したいのであれば後援する方法はある。
- ・ 標準化委員の異動に伴う委員変更について申し出があった。
聖隷浜松病院 秋山貴子氏 から 栗田哲至(さとし)氏へ変更。
→ 承認。事務局から委嘱状を発行する。

4) 会計部 (豊田会計部長)

資料により説明

- ・ 9月30日に日臨技から8月分の入会金と会費の送金があった。
- ・ 別紙にて上半期会計概要を報告。後日メールにて資料を送信するので各自確認する。主なものは、会員収入が800万を超えた。支出では通信連絡費等、昨年までと分類が変わったものがある。等
- ・ 残念ながらイムコア社から正式に退会の申請があり受理した。
- ・ A&T社が今年度会費未納のため確認中。

5) 事務局 (伊藤事務局長)

資料により説明

- ・ 日臨技より、自然災害による被災会員に対するお見舞い金申請手続き等について通知があった。災害共済金の支給と会費減免が認められるため、会員に周知する。
- ・ 先日亡くなられた塩見技師(浜松日赤)について施設責任者より申請書が提出され、弔慰金を支払った。
- ・ 事務所マンション(ヴィラセイユ稲川)の消防設備定期保守点検が10月3日(土)に実施された。(ベランダへの立ち入りのみだったため立ち会いはせず。)
- ・ パソコンのウイルス検出ソフトを更新した。
- ・ 富山県学術生理部門長より平成27年度中部圏支部生理検査研修会プログラムの配布依頼があった。10/30、ホームページへUPするとともに、会報配布時に同封する。
- ・ 第50回日臨技九州支部医学検査学会抄録集と、石川県臨床衛生検査技師会で行われた平成27年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会テキストの送付があった。
- ・ 第32回世界医学検査学会(2016/9/2~4 神戸開催)の一般演題募集が11/2より開始される。
- ・ 日臨技より、技師会機関紙「ピペット」の配布協力施設数についての資料提供とさらなる配布協力への依頼があった。
- ・ 中部圏支部より、第32回中部圏支部一般検査研修会開催(H28/1/9~10)案内周知依頼があった。

- ・静岡県病院協会より「第 55 回静岡県病院学会(H28/2/27)」への後援依頼があった。
→ 承認。

7. その他〔伊藤事務局長、三宅会長〕

1) 会員異動

資料により説明

- ・平成 27 年 9 月
新(再)入会 5 名、施設変更 3 名、氏名変更 2 名、新規施設登録 1 施設があった。
→ 承認。

2) 予定表

- ・11 月、12 月、平成 28 年 12 月の行事予定に次回理事会開催日が決まり次第追加。

3) 総会関連

- ・2016 年 6/11(土)にあざれあにて県学会の中で平成 28 年度定時総会を東部支部の担当で実施。
- ・理事改選となるため、現理事は、総会終了までが任期となる。
- ・総会終了後に新理事による臨時理事会を行えるよう学会プログラムを組む。
- ・新理事は 1 月に公募、公示開始するが、全国学会開催予定を見据えた人選を各支部にお願いしたい。
- ・県学会もあるため、抄録募集等、期日を逆算した準備を進めていく。
- ・総会の議事録等の準備は事務局長が行う。
- ・県学会の担当順は 2017 年 西部支部、2018 年 中部支部担当。2018 年は承認されれば全国学会を浜松で開催するため、西部支部が県学会担当と連続してしまうため、2017 年の県学会担当を中部支部にする可能性を含め、今後検討する。
- ・今回の県学会から担当する支部の副会長が学会長、支部長が実行委員長を務めることとする。

→ 承認。平成 28 年度学会長は鈴木副会長、実行委員長は稲村東部支部長。

4) その他

- ・現三役の年齢が近いので、引き継ぎ等、今後の技師会運営に向け考慮していく必要がある。
- ・平成 30 年の全国学会について、現在開催規定の改定が進む中で並行して開催承認が議論されており、静岡県開催の承認が遅れている。

以上

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 三宅 和秀

氏名 _____ 印

議事録記名人

鈴木雅人 藺田明広 山口浩司 渡辺時治

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印